

# 第9回沖縄県国家戦略特別区域会議 沖縄県提出資料



令和元年12月13日



沖 縄 県

# 【認定申請】 地域農畜産物利用促進事業

農家レストラン設置による地域農業の活性化と観光振興



イチゴ狩り農園に隣接して、  
新鮮なイチゴスイーツを堪能

- ・地元産のイチゴを贅沢に使った独自メニュー
- ・イチゴ狩りとの相乗効果で農と食の体験サービス



ほぼイチゴシュー



いちご大福いちご (中にもイチゴ)



朝摘みイチゴ搾り100%

6次産業化で新鮮かつ安心・安全な食材の提供  
地域の強みを活かした農業の振興  
農家の所得向上・雇用の拡大による地域の活性化

外国人を含む観光客向けに  
沖縄らしい新たな観光ス  
ポットを創出



農園内のレストランを旗艦  
店とし、沖縄産イチゴのス  
イーツ店舗を農園外に展開



沖縄という立地を最大限に活用し、  
新たな6次産業化ビジネスモデルを構築へ

# 【認定申請】 沖縄県近未来技術実証ワンストップセンターの設置

高度な産業技術である自動車の自動運転、ドローン及びAI・IoT等に係る実証実験を促進し、様々な分野における利活用の早期実現を図るため、国と共同で実証実験に係る総合窓口を設置し、関係府省庁、警察、道路管理者等との調整を行う等、支援機能の充実を図る。

## 沖縄県近未来技術実証ワンストップセンター

### ○支援内容

- ・電話相談、窓口相談等対応
- ・関係機関、市町村、地元関係者等への調整・情報提供
- ・実証実験の場となる土地又は施設管理者との調整
- ・国家戦略特区を活用した規制緩和に係る相談対応 等

### ○窓口

沖縄県企画部企画調整課内

自動運転



ドローン



AI・IoT



実証実験希望者

相談



回答



情報提供・調整



関係府省庁

沖縄県警

道路管理者

助言・要望等

市町村 等

新技術を活用した産業の高度化、新ビジネス創出、利便性・効率性の高い社会システムの構築等を促進

# 【沖縄県 新規提案】大型第二種免許受験資格の要件緩和

## 現状

- 鉄道のない沖縄県では、路線バスが公共交通の骨格を担うなか、入域観光客数が好調に推移し、貸切バス事業者が増加
- その結果、路線バスの運転手が貸切バス事業者へ転籍し、路線バスの減便により通勤・通学等へ影響

## 課題

- 道路交通法（昭和35年法律第150号）上、第二種免許の受験資格は、**21歳以上（年齢要件）**かつ、**普通免許保有3年以上（経験年数要件）**となっており、高校生等の若年層が就職しにくい状況にある。
- その結果、運転手の年齢構成は中高年層に偏り、安定的な路線バス運転手の確保に支障をきたしている。

## 規制緩和提案

- 適切な安全対策を講ずることを前提に、地域を限定し、受験資格を特例的に「**19歳以上かつ普通免許保有1年以上**」とすることを可能とする。

## 効果

- 安定的な路線バスの運転手確保に資することから、地域公共交通の維持確保が可能となる
- 高校生等の就職先の候補となりえることで中高年労働力への過度な依存が緩和され、地域公共交通の安定化につながる
- 貸切バスの運転手の安定確保にもつながり、観光客の受入基盤の強化につながる

